

静岡広域病院連携リハビリテーション科専門医養成プログラム (浜松市リハビリテーション病院)

1 はじめに

リハビリテーションは、疾患重視の医療の中で、唯一障害を専門に扱う診療科です。昨今、臨床現場でリハに対するニーズ・期待は極めて高く、基幹病院である当院には指導医・上級医がそろっており、十分な枠組みも用意されています。リハビリテーション科専門医に相応しい知識・技能を習得し、質の高い専門医の養成を目指します。



プログラム統括責任者 浜松市リハビリテーション病院

病院長 昆 博之

2 目的

このプログラムは静岡県東部、中部、西部ほぼ全域に渡る民間病院と大学(浜松医科大学、近畿大学、東京大学、名古屋市立大学：基幹施設との相互連携)で形成され、特に臨床に強い医師を育てることが目標となっています。一方、研究に興味のある専攻医に対しても十分指導できるように配慮された魅力的なものです。本プログラムの前身である「聖隷リハ専門医養成プログラム」ではこれまで多くの専門医を輩出し、多数の学位取得者(社会人大学院)もいます。新専門医制度においても多彩な施設で多数の症例を経験でき、専攻医の希望に応えられるよう臨床と研究についての研鑽も可能な特色あるプログラムとしました。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松市リハビリテーション病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大部附属病院、近畿大学病院、東京大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、亀田総合病院、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、NTT 東日本伊豆病院、聖隷リハビリテーション病院、湖山リハビリテーション病院、中東遠総合医療センター、静岡済生会療育センター令和、城西クリニック

4 専攻医受入数

各年度 4 名

5 研修期間

3 年間